

課題名：「I型アレルギーおよび自己免疫性慢性じんましの新規検査法の開発」について

(島根大学版：2026年5月18日)

○ 研究の意義・目的

現在行われているI型アレルギー（食物アレルギー、薬剤アレルギー、アレルギー性鼻炎）や慢性じんましん検査は、患者ではない人が陽性と判定されたり、患者が陰性と判定されたりするなど、検査の正確性に問題があります。

本研究では、Alpha法（2つの物質の接近を検出する方法の一つ）を用いて、I型アレルギーや慢性じんましの新しい検査方法を開発します。この研究を行うことで、正確な検査が実施できるようになると期待されています。

○ 研究対象者

2000年1月1日から2020年4月7日までに、島根大学医学部皮膚科でI型アレルギー（食物アレルギー、薬剤アレルギー、アレルギー性鼻炎）や慢性じんましんによる治療を受けられた患者さんと、検査のために採血された患者さんを対象とします。

○ 研究方法

検査のために取得し保管してある血清、および、診療録（カルテ）情報を用いて、新しい検査方法の開発研究を行います。

カルテから転記する内容は、年齢、性別、臨床症状、診断名、総IgE値、特異IgE抗体価、プリックテスト検査、食物運動負荷試験、ヒスタミン遊離試験結果、好塩基球活性化試験結果、自己血清皮内テスト検査、病歴、既往歴です。個人が特定出来る情報は転記しません。なお、ヒスタミン遊離試験未実施の患者さんについては、既存血清を用いて実施します。

また、広島大学と共同で研究します。広島大学に郵送し、情報を集め広島大学（研究代表者 松尾裕彰）が解析します。解析結果は、島根大学医学部皮膚科と共有しますが、個人を特定できないようデータを加工することにより個人情報の漏洩には十分注意します。

○ 試料・情報の管理責任者 広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰

○ 研究期間 2020年4月7日～2029年3月31日

○ その他

あなたから提供された検体・検査データ等は、とても貴重なもののため、今後もこの研究とは別の研究に利用させていただく可能性があります。これを二次利用といいます。

二次利用する際は別途倫理審査委員会承認後、研究機関の長の許可を得てから使用します。将来の研究に使用した場合は、現在ご覧いただいている本学のホームページへその情報を掲載し、拒否の機会を保障します。

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心

ください。

○ 研究組織

この研究は次の機関が参加しています。

研究代表者

広島大学病院 薬剤部 松尾裕彰

参加研究機関

【研究機関】

【研究責任者】

島根大学医学部附属病院皮膚科 千貫 祐子

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

お問い合わせ先

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

島根大学医学部皮膚科

准教授 千貫祐子（研究責任者） TEL：0853-20-2210（皮膚科医局）